

理事紹介

理事に就任しました濱由希子です。

エコロの森でスタッフとして活動を始め初々しかった頃、見学の案内をする前は緊張し、お風呂でも車の中でもブツブツ…それでも思うようにできず、悔しくて泣きました。あれから10年。今では、「エコロの主」とか「隊長」と呼ばれるまでに。笑

私自身子育てしながら、そしてエコけんが育ってもらいながら、子どもと一緒に成長しました。まだまだ勉強不足ですが、できる事を少しずつ増やし、この人と一緒に何かやってみたい！と思ってもらえるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

ちなみに、エコロの森で背が高く、一番大きな声でガハハッと笑っているのが私です。いつでもお話に来てくださいね。



理事になりました、伊藤綾と申します。

今年度から、私が卒業した古賀東中学校に事務所が移転しました。当時私は放送部で、先輩後輩はいたものの同級生は私含めたったの2人。部停になったエピソードなんかもありましたが、少人数ながら女子で賑やかだった放送室が懐かしいです。日頃は帰りの定時放送をしたり、体育祭時のアナウンス、集会時にマイクの準備などをしていました。振り返ってみると、私が人前が出るようになったのはこの頃があったからで、誰かのために、と役割をこなしていくのが好きになっていたように思います。

エコけんに入って4年目。今では、エコけんの何人ものお母さんに鍛われながら奮闘中です。

不慣れなところもありますが、精一杯がんばりますので、どうぞよろしくお願いします。



.....お知らせ.....

◆5月23日(日) 13:30~14:30 ハイブリット総会
エコけん総会を開催し、無事終了しました。
活動報告、会計帳簿は、ホームページに記載します。

◆令和3年度より、エコけんニュースは年2回発行とします。
総会后と年始を予定しています。お楽しみに。



エコけんニュース

No. 198
2021.6

古賀市天神 1-19-21
Tel/FAX 092-944-6450
ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp
http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/

リレー記事 No.116

所有する物に基準を作ってみませんか

持ち物をできるだけ減らし、必要最小限の物だけで暮らす人を「ミニマリスト」と呼ぶそうです。minimal(最小限の)という意味から派生した造語で、新しいライフスタイルとして、注目されています。

物をなるべく所有しない生活のメリットとして、以下のようなことがあげられます。

- 掃除が楽になり、物の手入れに使う時間が減る。
- 無駄な購入や廃棄が減る。
- 部屋がいつも片付く事で、居心地が良い。



すっきりした生活

物を減らした生活をする、時間や気持ちに余裕ができるだけでなく、省資源につながります。

ミニマリストを目指すのはちょっとハードルが高いですが、自分にとって所有する物の基準があると、スッキリとした生活には近づけるかなと思います。基準は人それぞれだと思いますが、たとえば「管理できている」、「継続的、定期的を使う」、「これがあると暮らしが快適」などです。

購入前にレンタルで試してみて、良ければ手に入れるのも一つの方法です。〇〇レンタルとネットで検索すると、意外と色々な物が出てきます。

また、たまに必要になる物こそレンタルの利用がおすすめです。最近は喪服を斎場でレンタルできる所が増えてきています。付属品も一緒に借りる事が可能で、遠方の時などはとても便利です。

欲しい物がすぐ手に入るのは、とても恵まれた事です。しかし、今後は、手に入れる前に少し考えるくせをつけ、改めて自分の持ち物を確認したいと思います。

(Yっち)



断捨離とミニマリストの違い

断捨離：定期的な清掃の意味も含まれる。ものに対してどう向き合うのかという点が重視される。
ミニマリスト：持ちものを最低限(厳選した質の良いものだけ)にして、より充実した生活を送ることを重視する生活スタイル。

未来を創ろうインタビュー

No. 75 古賀清掃工場長

本田 陽一郎 氏

この4月に着任された古賀清掃工場長 本田陽一郎さんにお話を伺いました。にこにこ優しい雰囲気、どんな質問にも丁寧に答えていただきました。



《未来を創る私の思い》

ひと

他人をおもいやる心「やさしさ」

民間の設計会社で12年近くお仕事をされた後、受注する立場ではなく、計画から携わりたいという思いで、新宮町役場へ転職されたそうです。その経験から、2016年の熊本地震の後、益城町での被災調査を担当されたり、翌年以降東峰村や朝倉市、八女市へ災害後のボランティア活動に足を運んでおられます。特に朝倉市ではごみの受入を手伝われ、分別の難しさと、被災後その場所で生活する住民の方の大変さがとても印象に残っているそうです。

人と人の繋がりを大切にされている思いは、行政マンとして地域を良くしていきたいという熱い気持ちと、災害地へ実際に行かれた経験からの言葉だと受け止めました。エコけんにも興味をもっていろいろ聞いてくださり、楽しいインタビューでした。

《Yっち》



エコロの森（古賀清掃工場）

人と地球のことを考えた“次世代型都市ごみ処理施設”です。

「ごみ焼却施設」「リサイクルプラザ」「最終処分場」「再生・展示棟」の4つの施設があり、古賀市・福津市・新宮町から集められたごみの処分・処理を行っています。

未来を創ろうインタビュー

No. 76 保育士

力丸 小百合 氏

以前、エコロの森のイベント「ファン・ファンエコロ！」でハンドマッサージブースを担当してくださった力丸小百合さんにお話を伺いました。

卒業後、保育士として働き始め、出産を機に子どもを預けずにできる仕事と思い、エステやハンドマッサージの資格を取られたそうです。子育てが一段落した現在は、保育士として復帰し、2歳児クラスの担任として活躍されています。



《未来を創る私の思い》

笑顔で人と接する

子育ての大変さがわかるからこそ、お母さんたちの役に立ちたいし、子どもたちには、家と同じように過ごせるようなホッとできる環境をつくりたいですね。また、「ありがとう」と言ってもらえるこの仕事は本当に楽しいんです！と笑顔で話してくださいました。

そんな力丸さんの週末の楽しみは、息子さんの野球の応援だそうです。そこでの応援もおしゃべりも全力投球！人との出会い、つながりを大切に、好きなことを全力で楽しんでおられるパワフルなママでした。

《ハマ》

ハンドマッサージとは

手には、たくさんの神経が通じているので、マッサージをすることで、身体全体のリズムを整えることができます。また血行がよくなり、気分をリフレッシュすることもできるといわれています。

